

拝啓 初秋の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。共和ゴムの寺阪です。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

2011年3月より取り組んできた「血糖値スパイク抑制バンド」の開発がやっと完了し、いよいよ来月発売となります。超軟質シリコンゴムバンドを使い、食後に立位エクササイズ(6分間)か座位エクササイズ(10分間)を行うことで食後の血糖値急上昇(血糖値スパイク)が抑制できるというものです。日本の糖尿病患者数は約330万人となり、糖尿病予備軍も加えると約1000万人以上になると言われています。僕自身、空腹時血糖値が100~110と少し高めですし、様々な合併症を引き起こす糖尿病を何とかしたいという強い思いで開発に取り組んできました。

既に世の中にはトレーニング用ゴムバンドはたくさん出回っておりますが、基本的にはトレーニングが目的で作られており、一番柔らかいものでも強度がそこそこ強いです。長年の研究成果から血糖値スパイクを抑制するためには極力強度を落とし、汗もかかない、息も上がらない程度のエクササイズでないと効果が出ないという事が判明しました。エクササイズは関連会社のEWP株式会社にて考案してもらいました。個人差はありますが心拍数が90~110くらいになるようなエクササイズとなっております。僕自身、昨年12月にリブレという血糖値測定器を腕に取り付け、食事の内容で血糖値がどのように上がっていくのか、食後エクササイズの効果の確認のため2週間ずっと血糖値を測定しておりました。

こうして開発したゴムバンドとエクササイズを同志社大学生命医科学部に持ち込み、中高年の糖尿病予備軍の方々を集めていただき臨床試験を行いました。臨床試験は初めてで、高額な費用にも驚きましたが、想定通りかなり良い臨床実験結果が出てくれてホッとしました。先月末で、日本語と英語での論文投稿も無事完了したので、いよいよこれから発売に向けての準備をしております。

今回の商品は既に糖尿病が重病化した方には効果がありませんでしたが、糖尿病予備軍の方々には大変効果的でした。糖尿病の未病化に繋がり社会に大きく貢献できる製品だと信じております。

日頃から大変お世話になっておりますお取引先様の皆様には、無償でのサンプル提供も含め検討しております。ご興味がある方は、弊社営業担当者にお問い合わせ頂ければ幸いです。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

敬具



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第58号
2020年10月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



Minutes Band

ミニッツバンド

2020.10 Vol. 58

NEWS

01 建設技術フェア 2020in中部 に出展します! 吹上ホール(名古屋市)2020/10/14 - 15



開催期間 2020年10月14日(水) 10:00~17:00
10月15日(木) 10:00~16:00

会場 吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)
〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号

今年も建設技術フェアに出展致します。
ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください。

共和ゴムブース: C4(屋内展示場と屋外展示場の連絡口付近です)

出展製品: ボルトナット防錆キャップ「まもるくん®」
各種ブロック目地材「目地フォーム®」

02 建設技術展 2020 近畿 に出展します! マイドームおおさか 2020/10/21 - 22



日時 2020年10月21日(水)・10月22日(木)
場所 マイドームおおさか(大阪市中央区本町橋2-5)

建設技術展に初出展致します。
ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください。

共和ゴムブース: 90 2F展示ホール「維持・更新」エリア

出展製品: ボルトナット防錆キャップ「まもるくん®」
各種ブロック目地材「目地フォーム®」

新製品 TOPICS



Minutes Band

ミニッツバンド

血糖値スパイク抑制バンド 『Minutes Band(ミニッツバンド)』



【開発の経緯】

2011年3月に起こった東日本大震災の時に、避難所暮らしの糖尿病患者の苦悩がニュースで取り上げられていたことがキッカケで、容易に持ち運べる物で、かつ簡単なエクササイズで食後の血糖値急上昇を抑えることができないか?と思い、開発に着手しました。色々な大学の医学部に共同研究の依頼を行ったが、ことごとく断られる... (笑)自ら人体実験しながら独自で研究を重ね、同志社大学生命医科学部のご協力もあり、重病化してしまった糖尿病患者には効果はないが、**糖尿病予備軍の未病化**には繋がるという研究成果を得ることができました。

【商品の説明・特長】

食後にミニッツバンドを使いエクササイズをすることで食後の血糖値急上昇(血糖値スパイク)を抑制できる。エクササイズは高齢者でも簡単にできるように設計されており、心拍数も90~110程度の負荷が軽いエクササイズで、6分間の立位エクササイズと、10分間の座位エクササイズの2種類がある。また粘弾性体であるゴムにおいて、トレーニング用バンドは全て弾性を高めて負荷を高めているが、ミニッツバンドは粘性を極限まで高めており負荷が掛からないようにしているのが材質的な特長である。

【試験データ】

食後の血糖値を30分毎に測定した結果が右上のグラフ、食後のインスリンの分泌量を30分毎に測定した結果が右下のグラフとなる。

■ エクササイズ



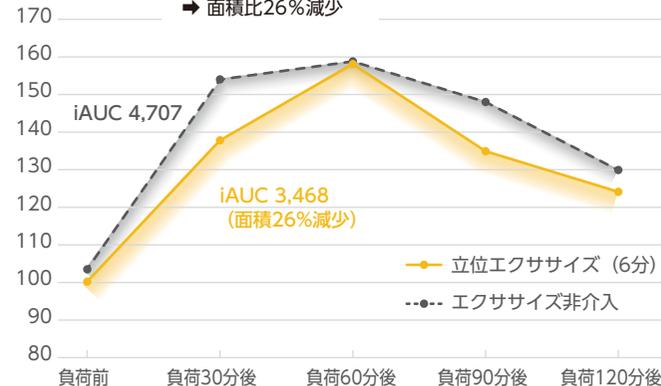
座位エクササイズ
(5種類×各2分間、計10分間)



立位エクササイズ
(3種類×各2分間、計6分間)

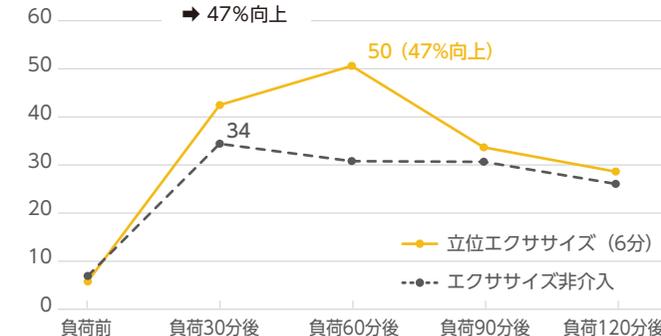
血糖の推移

エクササイズ非介入の場合、iAUC(面積)が4,707
立位エクササイズの場合は、iAUC(面積)が3,468
→ 面積比26%減少



インスリン

エクササイズ非介入の場合、インスリンの最大分泌量が34
立位エクササイズの場合は、インスリンの最大分泌量が50
→ 47%向上



今回の臨床試験の被験者は、インスリンの分泌が衰えている、またはインスリン抵抗性が高いといった「中高年かつ糖尿病予備軍」の方々をピックアップし行いました。病院では一般的な階段昇降エクササイズのようにきつもなく、また長時間(30分間以上)ウォーキングすることもなく、わずか6~10分間だけの低強度エクササイズで、インスリンがより分泌され、食後の血糖値急上昇を抑制できるということが判明しました。



↑ ミニッツバンド
紹介動画はこちら

エクササイズも動画で
ご紹介しています